

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和05年02月13日

計画の名称	箕面市社会資本総合整備計画（防災・安全）												
計画の期間	令和05年度～令和06年度（2年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	箕面市												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・箕面市域において、箕面市総合都市交通戦略（平成24年3月策定、平成25年3月国土交通大臣認定）に基づき、相互に連携した多様な交通施設の整備を総合的に実施し、徒歩、自転車、バス、鉄軌道の適正な分担を図ることにより、公共交通を中心とした交通体系を構築して、魅力あるまちづくりを実現する。 ・新たな交通結節点となる箕面萱野駅周辺において、鉄道等の公共交通が運休した場合の帰宅困難者対策として一時滞在施設となる広場空間等を確保し、災害に強い駅まち空間の構築を図る。 ・駅前広場に隣接する既存の芝生広場や歩行者デッキの他、隣接する商業施設の所有者やテナントとも連携し、駅まち空間にある都市アセットとして一体的に捉え、防災機能の強化を図る。 												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,270	A	1,270	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	質の高い生活を支える公共交通サービスが充実することにより、公共交通（鉄軌道・バス）の利用者数がH27年度の68,495人/日からR6年度には83,700人/日に増加する。 公共交通の利用者数（鉄道・バス）	68495人/日	人/日	83700人/日
2	新たな魅力拠点となる駅周辺まちづくりを進めていくことにより、都市拠点（かやの中央）への来訪者がH27年度の年間940万人からR6年度には1,300万人に増加する。 都市拠点（かやの中央）への来訪者数	940万人	万人	1300万人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	-	避難行動要支援者名簿の提供	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R05	R06	R07	R08	R09			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	都市交通	一般	箕面市	直接	箕面市	-	-	都市・地域交通戦略推進 事業(駅前広場の整備)	駅前広場 A=1ha	箕面市						328	-	
	A13-002	都市交通	一般	箕面市	直接	箕面市	-	-	都市・地域交通戦略推進 事業(駐輪場の整備)	駐輪場整備 N=新駅2箇所	箕面市						942	-	
											小計						1,270		
											合計						1,270		

事前評価チェックシート

計画の名称： 箕面市社会資本総合整備計画（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

